



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☎(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題

「一つとなる力」 "The Power of One"

アジア地域会長主題

「一つとなる力」 "The Power of One"

スローガン

「夢見るアジア、愛するアジア」 "Dreaming Asia, Loving Asia"

西日本区理事主題

「すべてのいのちを大切に—いのち・平和・環境—」

"Love & Care for All the Living Things—Life, Peace, Environment—"

中部部長主題

「ワイスの理念を胸に自信を持って活動しよう」

金沢犀川クラブ会長主題

「基本を踏まえて、もっと楽しく」

"Let's return to our beginning and enjoy volunteering again"

会長：三谷信三 副会長：川村孝治 書記：北肇夫 会計：高木啓一 直前会長：平口哲夫

今月の聖句：だから、私たちは落胆しません。たとえわたしたちの、「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。

コリントの第二の信徒への手紙 4. 16

2010年1月強調月間 IBC・DBC

BCとの交流プログラムを企画し実施しよう！

連絡の絶えているBCとの交流を再会しワイスの輪を国の内外に広げよう！

谷本 秀康 交流事業主任

☆☆☆1月第一例会案内☆☆☆

日 時：1月 28 日 (木) 19:00～21:00
場 所：兼六城下町 “ホテル兼六” 2階「時雨の間」
金沢市兼六町 2-5 TEL 076-210-8111
会 費：2,500 円
＊＊＊プログラム＊＊＊
司 会 : 川村君
開会・点鐘 : 三谷会長
ワイスソング : 一同
今月の聖句 : 司会者
ゲスト紹介 : 平口君
食前の感謝 : 平口君
——会 食——
卓話「厄介者の竹を楽しむ」
: NPO 法人 39 アース 副理事長 山本 久司氏
事業委員報告 : 各委員
ニコニコタイム : 高木君
閉会・点鐘 : 三谷会長

☆☆☆12月例会報告☆☆☆

[第一例会]

日 時：12月 10 日 (木) 19:00～21:00
場 所：兼六城下町 “ホテル兼六” 2階「時雨の間」
出席者：志村 恵氏(ゲスト・スピーカー)
田口昭典氏・原守氏・Mr. James Green・
松原繁子氏・中本美香氏(ゲスト)
川村君・北君・作田君・高木君・平口君・
三谷君

[第二例会]

日 時：12月 24 日 (木) 19:00～21:00
場 所：金沢 YMCA
出席者：川村君、北君、澤瀬君、高木君、平口君、
三谷君

今月のハッピーバースデイ：該当者はいません
2月の当番 司会：作田君、準備：澤瀬君
*後期クラブ会費をご持参ください。
*使用済み切手をご持参ください。

当クラブ	12月出席者	12月出席率	B F ポイント	ニコニコタイム
正会員 7名	メン 6名	100%	前年度繰越 1,711g	12月分 8,900 円
広義会員 0名	ネット 0名		12月分切手 0g	
	ビジター 0名	メイキャップ 1名	今年度累計 切 手 100 g	
	ゲスト 6名		現 金 0 円	
合計 7名	12名	100%	合計 1,811 g	累計 47,811 円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 12月クリスマス特別例会に参加して ◆ 川村孝治

金沢犀川クラブのクリスマス特別例会は、12月10日(木)19:00~21:30、兼六城下町・ホテル兼六で開催。いつもの例会とは異なり、テーブル脇には所狭しとプレゼントやオークションの品物が並び、しかも女性ゲスト2名、男性ゲスト3名(内スピーカー1名)という賑わいでした。

セレモニーのあと、シャンパンによる乾杯から始まった食事はクリスマスらしくちょっと豪華なもので、談笑の切れ間なく楽しいものとなりました。この先、卓話、オークションと続くのですが、予定時間が大幅に過ぎてしまい、タイムキーパーを兼ねた司会者の私も困りましたが、何とか予定時間内におさめることができました。

志村恵金沢大学教授による卓話「第九の日本初演と青島(チナオ)」は、まず「第九」をドイツ語で歌うことから始まりました。パワーポイントのスライドを用いての卓話は、とても分りやすく興味深いものでした。

要旨:ベートーベン(1770-1827)の第9交響曲の全曲日本初演は、徳島にあった坂東俘虜収容所のドイツ人俘虜たちによって行われたという。楽器もさることながら、このような高度な楽曲をなぜ俘虜たちが演奏できたのだろうか。この一件をもってよくドイツ人の文化性が取りざたされるが、本当にそうなのだろうか。本卓話では、中国・青島がドイツの租借地になった歴史的プロセス、青島でなされていた文化活動(特に音楽関係)、ドイツ人たちが日本に輸送された経緯、そして坂東で行われていた音楽活動を概観し、なぜ第9交響曲が四国・徳島で鳴り響いたのかが考察された。

プロフィール:しむら・めぐみ。1957年高知県生まれ。名古屋大学とミュンヘン大学で学ぶ。専門はドイツ学。現在、金沢大学人間社会学域国際学類教授、留学生センター長。

オークションは、作年より金額は少なめでしたが、声の掛け合いが面白く、爆笑の中にクリスマス例会を終える事ができました。



(前列右から二人目:志村教授)

◆ わいわい寄席収益金贈呈式参加記 ◆ 平口哲夫

去る12月17日(木)18:30から金沢ニューグランドホテルで開催された金沢クラブ第一例会(クリスマス例会)に参加し、第7回金沢わいわい寄席収益金の贈呈式に実行委員の一人として立会いました。収益金15万円は、瀧谷実行委員長(金沢クラブ)から朝倉金沢YMCA理事長に手渡されました。贈呈式を撮った写真はシャッタ

ーのタイミングが悪かったので、笑顔に満ちた集合写真を掲載しておきます。

さて、総合司会は山内メン、メッセージは日本キリスト教団金沢教会の阿倍倫太郎伝道師でした。若々しい阿倍伝道師とは初対面でしたが、東北学院大学から東京神学大学に進まれたとのことですので、仙台で学生・院生生活を9年間送った私としては、金沢と仙台の縁の深さを感じた次第です。

山内メンの司会による「親睦のとき」に象徴されますが、いつもながらネットさんたちが場の雰囲気を大いに盛り上げているように感じられました。これは犀川クラブには欠けている点ですが、それなりの事情があつてのことですので、わがクラブはわがクラブとしての良さを發揮していくべきでしょう。



◆ ユニセフ街頭募金に参加して ◆

三谷信三

年末恒例のユニセフ街頭募金を12月23日午後1時30分から1時間、片町大通りの堅町口付近で行われた。この日は北陸の年末には珍しく快晴に恵まれたので、多くの募金を期待して、金沢犀川クラブから北、平口、三谷の3名、金沢クラブから伊藤、数澤、瀧谷、山谷の4名が参加した。金沢YMCA関係の子供たちはインフルエンザを考慮して不参加とした。

いざ街頭に立ってみると、若者が多く、最初は募金のお願いをしても素通りするだけ。そこで手がポンで呼びかけたり、直接若者に趣旨を話したりして募金に協力してもらった。祭日にもかかわらず大人の買い物客がほとんどなく、不況の波が金沢にも押し寄せてきているのを、ひしひしと感じた。

当日の募金額は、10,452円。ちなみに金沢市青少年団体協議会によれば41団体1,390名が参加し、総額1,017,513円の募金があったとのこと。



金沢 YMCA のホームページ

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/kanazawa-YMCA.html>